

## つかむ段階



### こんな児童の姿を目指して

- 「考えてみたい」「やってみよう」と、意欲的に取り組む気持ちを持っている。
- 本時の課題に取り組む必然性、「問い」を持っている。

## 自分の授業を振り返って

※ 授業を振り返り、当てはまるステップをチェックしましょう。

- 【ステップ1】授業の中で「めあて」を板書し、児童に示していますか。
- 【ステップ2】「めあて」を、児童に理解させることができているか。
- 【ステップ3】「めあて」は、1時間の授業で何ができるようにすればよいのか、何をどのように考えればよいのかなど、児童が具体的にイメージできるものになっていますか。

## 次のステップを目指して(授業の質的改善の視点や手立て)

※ 授業の質的改善に向けて、今後取り入れたい手立てをチェックしましょう。

- (ア)資料の提示を工夫し(資料の一部を隠す、情報過多・情報不足にする、電子黒板を活用するなど)、疑問を持たせる。
- (イ)考えや予想がずれる場面を設定し、「～したい」という思いを持たせる。
- (ウ)既習との違いを感じさせ、「～したい」という思いを持たせる。
- (エ)児童の気付きや発言に問い返し、児童の言葉でめあてをつくる。
- その他( )

## 見通す段階



### こんな児童の姿を目指して

- これまでの学習を基に、「このようにすれば解決できそうだ」という解決の見通しを持っている。
- これまでの学習を基に、「こうなりそうだ」という結果の見通しを持っている。

## 自分の授業を振り返って

※ 授業を振り返り、当てはまるステップをチェックしましょう。

- 【ステップ1】問題解決の方法や結果の見通しを、児童に示していますか。
- 【ステップ2】児童の発言を取り上げながら、見通しを持たせていますか。
- 【ステップ3】これまでの学習を基に「このようにしたらよさそうだ」「このようにしてみよう」などと、問題解決に向けたイメージを持てる見通しを全員に持たせていますか。

## 次のステップを目指して(授業の質的改善の視点や手立て)

※ 授業の質的改善に向けて、今後取り入れたい手立てをチェックしましょう。

- (オ)これまでの学習を基に、解決の方法や結果の見通しを持たせる。
- (カ)解決の方法や結果について、全員で共有する前に、児童に1人で考えさせる時間を設定する。
- (キ)授業のねらい、児童の実態を踏まえて、どこまで見通しを持たせるか明確にする。
- (ク)発表された見通しについて、その意味や妥当性を少人数で話し合う時間を設定する。
- その他( )

## 自力解決段階



### こんな児童の姿を目指して

- 粘り強く問題の解決に取り組んでいる。
- 相手意識を持って自分の考えを、相手に伝わるように表現している。
- 考えたことを複数の方法で表現しようとしたり、他の方法で考えようとしたりしている。

### 自分の授業を振り返って

※ 授業を振り返り、当てはまるステップをチェックしましょう。

- 【ステップ1】見通しを基に、自分なりに考えたり表現したりしようとする態度を育てることができていますか。
- 【ステップ2】式と答えだけでなく、図や言葉なども使って、考えさせたり表現させたりしていますか。
- 【ステップ3】他の方法で考えたり、より伝わりやすい方法で表現したりするなど、答えを求めた後にすることを児童に理解させていますか。

次のステップを目指して(授業の質的改善の視点や手立て)

- ※ 授業の質的改善に向けて、今後取り入れたい手立てをチェックしましょう。
- (ケ) 答えを求めるのではなく、途中まででも自分なりに考え、表現することの大切さを価値付ける。
- (コ) 誰(困っている友達、先生等)に対して説明するのかを伝え、分かりやすい説明にする必然性を感じさせる。
- (サ) 式や答えの根拠を問い、図や式や言葉などを関連付けさせる。
- (シ) 1つの方法で答えを求めた後に何をするのかを児童に伝え、考えを広げたり、深めたりさせる。
- その他( )

## 学び合う段階 (ペア・グループ)



### こんな児童の姿を目指して

- 図や式や言葉を用いながら、相手に分かりやすいように説明している。
- 相手の考えを聞き、意見を伝えたり、質問をしたりしている。
- 互いの考えの妥当性を検討したり、比較したりして、よりよい考え方や表現の仕方などを話し合っている。

### 自分の授業を振り返って

※ 授業を振り返り、当てはまるステップをチェックしましょう。

- 【ステップ1】ペアやグループで、自分の考えを表現したり説明したりする活動を取り入れていますか。
- 【ステップ2】話し合う目的を明確にして、表現したり説明したりする活動に取り組ませていますか。
- 【ステップ3】児童に必然性を持たせ、意欲的に表現したり説明したりする活動に取り組ませることができていますか。

次のステップを目指して(授業の質的改善の視点や手立て)

- ※ 授業の質的改善に向けて、今後取り入れたい手立てをチェックしましょう。
- (ス) 「考えを紹介し合う」「よりよい方法を選ぶ」「分からないことを教え合う」など目的を伝えて話し合わせる。
- (セ) 相手の説明に質問をしたり、意見を言ったりするようにさせる。
- (リ) 話し合いを通して新しく気付いた考えやよいと思う表現などは、ノートに書き加えさせる。
- (タ) 話し合った後に、自分や相手の考え、表現の変容や高まりを振り返らせる。
- その他( )

## 学び合う段階（全体）



### こんな児童の姿を目指して

- 友達の発表を理解し、妥当性を検討している。
- 複数の考えを比較し、簡潔・明瞭・的確などの視点から検討している。
- 発展的・統合的に考えている。（「だったら～の場合には」「つまり～」）

### 自分の授業を振り返って

※ 授業を振り返り、当てはまるステップをチェックしましょう。

- 【ステップ1】児童の考えを学級全体で共有する活動になっていますか。
- 【ステップ2】一部の児童の発表で進むのではなく、児童同士の考えをつなぎ、児童同士の交流を通して、考えの根拠を明らかにする活動になっていますか。
- 【ステップ3】児童同士の考えを比較・検討することで、よりよい問題解決の方法を見いだしたり、既習と関連付けて統合的に考えたりする活動になっていますか。

次のステップを目指して（授業の質的改善の視点や手立て）

- ※ 授業の質的改善に向けて、今後取り入れたい手立てをチェックしましょう。
- (チ)発表された図や式のみを提示して解釈したり、関連付けたりさせる。
- (ツ)発表を区切り、続きを考えさせたり、発表したことを他の児童に再現させたりする。
- (テ)授業のねらいに応じた視点を基に、複数の考えの共通点を考えたり、よりよい考えを検討したりさせる。
- (ト)適宜、少人数での相談の場を設定し、出された考えを全ての児童に検討させたり、発展的・統合的に考えさせたりする。
- (ナ)問題解決のキーワードとなる数学的な見方・考え方を板書させ、どのようにしたら問題解決ができたかを意識させる。
- (ニ)考えの共通点や相違点に目を向けて表現させたり説明させたりすることで、これまでの学習と関連付けたり、より根拠を明らかにしたり、よりよい考えに高めたりさせる。
- その他( )

## まとめる段階



### こんな児童の姿を目指して

- どのようなめあてがあり、どのように解決したのかを振り返り、新たな問いを見いだしている。
- 新たに得た知識や技能を、既習の学習や日常の場面などと関連付けて捉えている。

### 自分の授業を振り返って

※ 授業を振り返り、当てはまるステップをチェックしましょう。

- 【ステップ1】学習内容の「まとめ」を板書していますか。
- 【ステップ2】「まとめ」は、「めあて」に対応したものになっていますか。
- 【ステップ3】児童の発言を取り上げながら「まとめ」を行うことやキーワード・文の書き出しなどを示して、児童が「まとめ」を行うことができるようにしていますか。

次のステップを目指して（授業の質的改善の視点や手立て）

- ※ 授業の質的改善に向けて、今後取り入れたい手立てをチェックしましょう。
- (ヌ)本時の目標を基に、まとめのポイントとなる言葉を明らかにしておく。
- (ネ)学習内容や問題解決の過程をまとめることができるように、構造化した板書を行う。
- (ノ)「めあて」や「見通し」の内容を振り返らせ、まとめの言葉を発表させる。
- (ハ)問題解決の過程を振り返る際の、振り返りの視点を明確にして振り返らせる。
- その他( )